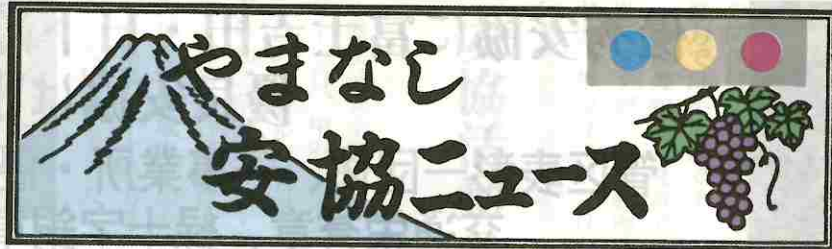


平成8年中の交通事故

(平成8年12月31日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成7年		5,440件	96人	7,113人
平成8年		5,826件	111人	7,581人
比較		+386件	+15人	+468人



◇ 第116号 (新年特別号) ◇

発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827



迎春

箱根三国峠からの眺望 小林幹男氏撮影

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに、平成九年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、交通安全に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。社会、経済生活に不可欠な車社会が、想像を超える早さで到来し、これが交通事故の増加や交通環境の悪化をもたらしています。

「県民総講習」等を実施しています。私も交通安全協会は、生命の尊厳と交通事故の重大性を深く認識し、安全で秩序正しい交通社会を確立するため、関係機関、団体並びに県民全員と一体となって「安全で快適なクルマ社会」の実現に尽力することをお誓いし、年頭のごあいさついたします。

秩序正しい交通社会

（財）山梨県交通安全協会会長 志村 哲良

県内での運転免許の保有者は五十二万人を超え、県民一、六七人に一人が免許証をもち、さらに保有する車両も七十九万台になり、県民一、二人に一台所有するなど、交通流の増加が交通事故発生

平成八年、全国では、九年ぶりに交通事故の死者を一万人以下に抑え込みました。一人(二十五人)と増加し、二年連続二桁台に抑えることはできませんでしたが、全国の交通事故による死者は、九、九四二人と、九年振りに一万人を下回り、全国の警察をあげて取り組みました二万人以下という目標が達成できました。

謹んで新春のお喜びを申し上げます。平成九年の年頭に当たり交通安全協会の皆様におかれましては、地域における交通安全活動の中核として、平素から交通事故防止のため御活躍されておられますことに対し、心から敬意を表します。

さて、最近の交通情勢は、不況が長期化しているとは言ふものの社会、経済活動の量的な拡大と共に、人口の高齢化、

これらもひとえに皆様方のご協力とご支援の賜と感謝申し上げます。交通事故のない安心で、安全な地域社会の実現のためには、警察の活動とともに、安協の皆様方の活動が不可欠であります。地域の交通安全活動のリーダーとして、地域ぐるみの活動を更に積極的に展開され、なお一層御活躍されますようお願いするものであります。

安全で快適な車社会

山梨県警察本部長 加地 隆治

生活時間の夜型化等により質的に複雑化してきていることに加え、自動車の保有台数並びに運転免許保有者の増加など、「くるま社会」の進展とともに、交通事故は増加傾向にあり、依然として第二次交通戦争と言ふべき状態が続いております。

このような厳しい交通情勢の中で、昨年の本県の交通事故による死者は、一一

たが、県内では前年の九十六人を十五人超す百十一人が死亡し、二年連続一桁台への目標は達成できませんでした。県警や地方自治体に安協等も協力して、死亡事故抑止のための「緊急事態宣言」を発し対応しており、また、道路交通の場に参加する県民一人ひとりが、交通安全の主役であることを自らが認識し、交通ルールとマナー実践のための

第二回交通安全推進県民大会

交通安全功労者・優良運転者を表彰

優秀安協に富士吉田・日下部 優良安協は小笠原・大月 管区表彰一団体、一事業所・優良運転者11人 交通栄誉章、緑十字銅章110人



県民会館大ホールでの交通安全推進県民大会

一月十七日、県民会館で、県警察本部と県交通安全協会共催の平成九年交通安全推進県民大会が開催されました。この大会は、年頭にあたって交通安全に関する全県規模の結束を図るため、昨年

長と山下道男県交通安全協会副会長が交通事故防止に向けて力強いあいさつをしました。続いて一月二十二日都内日比谷公会堂で開かれる交通安全国民運動中央大会で交通安全栄誉賞緑十字金章・銀章等の受賞が決定した個人・団体(別掲)が紹介されたのち、表彰が行われました。

受賞者は、多年にわたる交通事故防止に功績のあった交通安全功労者・団体や交通安全協会と同役員、永年無事故、無違反で他の模範とされる優良運転者、多年職務に精励している優良な安協役員等二十一団体、一事業所、四百九十五人で、表彰状、感謝状と記念品が贈られました。

続いて県警交通部今福誉参事官が「昨年の県内の交通事故は、件数、傷者に加え、死亡事故も前年より増加したので今年はその抑止に努めたい」と(敬称略)は次のとおり

交通安全功労者表彰 金章・銀章に輝く人々 1月22日全国表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

交通安全宣言 平成九年一月十七日

交通安全宣言 平成九年一月十七日

交通安全功労者表彰 優良運転者表彰

橋本総理が国会で

異例の「交通安全宣言」

今年も、また、交通戦争時代の年明けです。警察のみならず、政府、自治体など全部門が、交通事故防止に躍起となつて取り組んでいます。なかなかその戦争を終結することはできません。

「年間一万人を超えての推進、交通安全施設の整備、指導取り締まりの推進等に今後とも総合的に進めて参る決意であります」という内容です。

歴代の総理の発言では異例ですが、橋本総理は平成八年四月二十六日の

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

安協活動の理解を

県安協合同役員会

県交通安全協会は、一月十三日、甲府市中央一丁目のホテル古名屋で、本年初の県安協理事・監事・評議員合同役員会を開催し、平成九年の交通安全活動のすめ方等について協議しました。

「一件でも交通事故を減少させること、再度死者数の二桁台抑え込みの実現」を目標に、「自ら先頭に立ち、地域の事故状況に応じた効率的な事故防止対策を推進する」旨の誓いをしました。

「一件でも交通事故を減少させること、再度死者数の二桁台抑え込みの実現」を目標に、「自ら先頭に立ち、地域の事故状況に応じた効率的な事故防止対策を推進する」旨の誓いをしました。



県安協合同役員会の状況

会議では、志村哲良会長が欠席のため、会長代理の山下道男副会長が「本年は死者数を二桁に抑え、これを定着したい」と

「一件でも交通事故を減少させること、再度死者数の二桁台抑え込みの実現」を目標に、「自ら先頭に立ち、地域の事故状況に応じた効率的な事故防止対策を推進する」旨の誓いをしました。

「一件でも交通事故を減少させること、再度死者数の二桁台抑え込みの実現」を目標に、「自ら先頭に立ち、地域の事故状況に応じた効率的な事故防止対策を推進する」旨の誓いをしました。

県民総講習は、次のような目的で開始され、昨年十月から本年三月まで継続して実施されています。

甲斐の路さわやか 県民総講習、実施中!!

現在の山梨県内の交通事故は、発生件数、死者、傷者ともに増加しており、また、例年、秋から年末にかけて交通事故が多発する傾向が強いので、これからの交通事故、特に、死亡事故の増加に歯止めをかけるため計画されたものです。



県民総講習の仕方の研修会の状況 (韮崎)

具体的には、「甲斐の路さわやか県民総講習」を実施し、県民一人ひとりに「交通事故防止は県民自らの問題である」という意識を普及し、県民総ぐるみで交通事故を一件でも減少させようというものです。

地域、学校、職場や各種会議の出席者等県民すべてとし、また、講師は県警の職員や安協等の役員となっています。県民の皆さんには一人

でも多くこの講習を受けて頂き、交通事故をおこして泣いたり、後悔することのないようご理解とご協力をお願いいたします。

昨年九月十一日、同講習所を一日開放して、八田村地内の七十名の高齢者に対し、運転技能や事故の衝撃などを体験する講習会を開きました。

高齢者の運転機能を再検

山梨自動車学校で講習会

いつまでも若く、年はとりたくないし、また、無事故で車を運転を続けたいのは、誰れしもが持つ願望です。

現実には若い時より機能が減退しているのに、自分の機能、能力は若いつもりで、運転中の反応動作の速さは、年齢が増すとわすれがちですが遅く

特性を生かし、お互いに自信をもって事故防止につとめましょう。

参加した高齢者の間から「百聞は一見にしかず」だったので、県安協としては、教習所の積極的開放を含め、次代を担う若者などにも、この種の講習をしたと考えています。



高齢者特性の勉強会の状況 (八田村)

美穂ちゃんを生かす

一つの道

泉中学校三年 浅川 鮎子



美穂ちゃんを返して、お母さん。

美穂ちゃんを返して、お母さん。

美穂ちゃんを返して、お母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

「美穂を返して」加害者の運転手の家に行つて訴えたお母さん。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車保険をつけよう。損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店。甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL0552-28-0691

無料 交通事故ご相談。電話のご相談もお受けします。0552-28-8335 (直通)。相談日：月曜から金曜 午前9時30分~12時 午後1時~4時40分 (祝祭日を除く)。甲府自動車保険請求相談センター。甲府市丸の内3-1-6 住友生命山梨ビル3階 甲府駅前事務所内 TEL0552-28-8810

平成9年 交通安全年間スローガン

(最優秀作・内閣総理大臣賞)

運転者(同乗者を含む)向け
「モシ・モシ」は車に乗る前降りたあと!!

歩行者・自転車利用者向け
事故を呼ぶ わき見 飛び出し 二人乗り

子ども部門
おいかけたボールの先にじこがまつ



新春にあたり武田神社で交通安全を祈願

交通事故の 減少を祈願

県交通安全協会
県交通安全協会(志村哲良会長)は、一月十三日、武田神社で、今年の交通事故を減少させることを誓いながら祈願しました。

当日は、県警の加地隆治本部長、県安協の志村哲良会長をはじめ、県警交通部幹部、県安協役員、

交通機動隊員、高速道路交通警察隊員等百人が参加しました。

拜殿では、加地本部長と志村会長が玉ぐしを奉納し、一同これに合わせて平成九年の交通事故の減少、特に死者数を二桁台に抑え込むことを誓いつつ祈願しました。

また、新たに配置されて運用をまつパトカーや白バイなどが無事故で任務を全うできるように祈願しました。

沿道に葉ボタン

▽塩山安協・同婦人部
塩山安協(植野友規会長)と同婦人部(石川休央子部長)は、十一月十二日、塩山警察署(中植治人署長)とともに、同署周辺



の沿道に、恒例となっている葉ボタンの移植を行い、沿道を通過するドライバーなどの目を惹きつけています。

この行事は、数年前から実施しているもので、とかく固いイメージの警察署を訪ねる人々や道路を通行する人の心を少しでも和らげようと、春と秋の二回にわたり道路沿いと同署付近一帯に花の植え込みを行っているのです。

昨秋も、各役員が丹精込めて咲かせた葉ボタン八十株を持ち寄り、みごとに葉ボタンが一行に並

地区だより
年未年始の交通事故防止県民運動は、十二月十日から一月十日までの三十二日間実施されました。運動期間中の県内での交通事故発生状況は、発生件数五百三十件(前年同期比六十五件増)、死者十一人(二人増)、傷者六百八十四人(九十二人増)でした。安協役員は、三百二十五人が出動しました。

効率的な活動など協議

安協・峡北ブロック協議

峡西・峡北地区の小笠原・葦崎・長坂の三交通安全協会が構成する峡西・峡北ブロック協議は、十二月十二日、須玉町若神楼で開催され、講師・助言者として県警交通部の今福参事官、県安協酒井澄男専務理事ら

が出席、ブロック内正副会長等三十九名が参加しました。

会議では、「高齢者の交通事故防止対策」を中心テーマとして活発な意見が交わされました。また、三警察署の交通課長から各管内の交通情勢と交通安全対策の概要について説明がありました。

熱心な意見交換の結果、今年の高齢者対策や安協活動の推進にあたって、県民総講習等の機会を利用して、参加・体験・実践型を導入するに正しく理解を得ながら、創意をこらした活動を行う

ことを確認しました。成果が期待されます。



峡西・峡北ブロック協議の状況(須玉町)

婦人部の活動PR

▽都留安協婦人部

都留交通安全協会婦人部(滝川智子部長)は、「交通安全は家庭から」を合言葉に、「交通安全高齢者個別訪問」等を中心にして、交通事故ゼロを目指して活動しています。

同婦人部は、十一月二十九日から三日間、山梨県立富士女性センターにおいて開催された「やまなしフェスティバル'96」に参加して、一年間の活動状況を発表して反響を呼びました。同部では、会場の三階に模造紙五枚を利用し写真入りで紹介するとともに、婦人部役員が多数出動して「交通安全は家庭から」を多くの参加者に訴え、さらに、



死亡事故減少を誓願

▽小笠原安協

小笠原警察署(永田賢次署長)と小笠原交通安全協会(松田良一会長)は、一月九日、榎形町小笠原地内の笠井神社に、関係者約二百人が集まり、今年一年間の交通事故防止を祈願しました。

さる一月十七日、県民会館で開催された「交通安全推進県民大会」において、優良安協として二年連続して表彰を受けたので、さらなる事故防止を誓願しました。



交通安全を祈願

▽大月安協

大月警察署(一瀬諭署長)と大月交通安全協会(山下道男会長)は、一月八日、大月市駒橋地内の三島神社で交通安全祈願祭を開きました。

一瀬署長らが「昨年は前年より交通事故件数や死者など増加したが、今年には事故防止のため相互に連携をとって頑張りたい」と協力依頼を申しました。



新春に事故防止誓う

▽石和安協

石和警察署(窪田正英署長)と石和交通安全協会(小野厚会長)ほか交通関係団体は、一月九日、一宮町の甲斐一宮浅間神社で、関係者約百二十人



交通安全協会は こんな活動をしています

交通安全協会は、交通道徳の高揚と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故のない明るい交通社会をつくることを目的として設立された団体です。

悲惨な交通事故を一件でも少なくするために、山梨県交通安全協会と県下の各交通安全協会は一体となって、交通広報・啓発事業など次のような各種の交通安全活動を行っています。

- ①各季の「交通安全運動」や交通事故多発時などにおける各種広報活動や街頭宣伝活動
 - ②会報等の発行、ポスター・チラシの作成、横断幕やのぼり旗の掲出などによる交通安全のための啓発活動
 - ③交通安全子ども自転車大会、二輪車安全運転大会や中学生交通安全弁論大会などの開催による啓発活動
 - ④職場や地域などでの交通安全講習会の開催
 - ⑤運転免許窓口で運転免許更新申請手続きの案内や更新講習などへの講師の派遣などの交通安全関連事業
 - ⑥優良運転者や交通安全功労者・団体に対する表彰
- 交通安全は「世界の願い」「みんなの願い」です。交通安全協会は、交通事故防止と安全確保のために、さまざまな活動に積極的に取り組んでまいります。交通安全協会に対する皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

交通安全協会への 加入のお願い!

交通安全諸活動を行っていくために、運転者の皆様に交通安全協会への加入をお願いしています。よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許)の免許の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 **山梨自動車学校**
中巨摩郡八田村野牛島1828
(運転免許センター内)
TEL (0552) 85-0752